

講義名	英語精読【GSP・上級者用】		
担当教員	藤岡 千伊奈		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限	授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2

主題と概要

社会ではグローバルな環境で即戦力として活躍できる人材が求められています。そのため、英語力と異文化知識を身に付けることが不可欠です。このコースでは、好評のノン・フィクションのテキストを用いて、中級レベル以上のリーディング力を習得することを目指します。授業は精読なので、細かいところまで深く読み、リーディング問題を解いて、内容理解をしていきます。また、リーディングのトピックに関して、ペア及びクラス全体でできるだけ英語で意見交換し、ディスカッションにも力を入れていきます。授業は目次通りでなく、特に興味深いユニットを厳選して読んでいきます。また、授業外で毎週additional readingも積極的に行ってもらい、できるだけ沢山読んでリーディング力を高めていきます。授業は、講義ではなく、学生による授業参加型の授業なので積極的に授業に挑むように、皆さんの前向きな姿勢・努力は成績に反映されます。

到達目標

- 総合的なリーディング・スキル(スキミング等も含め)を習得できるようになる。
- リーディングを通じて、文法・語彙・熟語力を高めることができるようになる。
- リーディングを通じて、グローバルな視点から異文化知識を高めることができるようになる。
- リーディングのトピックに関して、英語で意見交換・ディスカッションできるようになる。

*オンラインでの受講では、到達目標を達成することが難しい科目であるため、オンデマンドでの開講はできない。

提出課題

授業内で適宜指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

提出課題に直接コメントを書いてフィードバックします。また、クイズに関しては、授業内で解説します。

評価の基準

- 1) 授業姿勢 20%
- 2) 小テスト 20%
- 3) 課題 20%
- 4) 口頭発表10%
- 5) 学期末試験 30%

*5回休んだ時（途中退室も含め）、自動的に不可が決定し、学期末試験は受けられない。

履修にあたっての注意・助言他

1. このクラスは、長文の英文を読んで理解できない学生には勧めません。
2. 辞書（携帯不可）は常時持参すること。
3. 第1回目の授業で、重要な詳細を説明するので、必ず出席するように。
4. 授業中、宿題や、準備を怠る学生は、その日、「欠席」となるので注意すること。
5. 教科書を購入しない学生は履修できません(古本不可)。

*著作権の問題で、ライブ配信の授業においても教科書購入は必須です(よって、自国にいて教科書が入りできない留学生には履修を勧めません)。

教科書				
.Reading Advantage 2 3rd Edition .	Casey Malarcher	センゲージ出版		978-981-4336-54-3

プリント資料及び参考文献

必要に応じて授業中に指示する。

授業計画

回 授業計画
1 Course Guidance
2 Unit 1 Helping Others
3 Unit 1 Helping Others/Other material
4 Unit 3 Movie Directors
5 Unit 3 Movie Directors/Unit 4 Coffee Culture
6 Unit 4 Coffee Culture/Unit 10 The Nobel Prize
7 Unit 10 The Nobel Prize/Unit 11 A Funny Cure
8 Unit 11 A Funny Cure/Unit 12 Palm Reading
9 Unit 12 Palm Reading/Unit 17 Happy New Year!
10 Unit 17 Happy New Year!
11 Unit 19 Urban Legends
12 Unit 19 Urban Legends/Other material
13 Other material
14 Presentations (if necessary)
15 Presentations

*感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となる(オンデマンドではない)。

*学ぶユニットは変更の可能性あり。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

*「2単位の講義では、1回の講義について4時間の自己学習が必要」ということなので、その時間を、テキストの予習・復習・課題に使う。
*授業前は、各ユニットの分からない語彙の意味を調べて来る。
*授業後は、各ユニットの小テストがあるので、しっかり復習する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学の高学、経済、人間社会学部生が、各分野において卒業時に必要とされるスキル・知識・コミュニケーション力を英語においても身に付けることでグローバル社会で生きる力を修得する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

*感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となる(オンデマンドではない)。